



集う我らの世羅の学園 (にわ)

世羅高 同窓会会報

発行
広島県立世羅高等学校
同窓会報編集委員会
世羅郡世羅町本郷870番地

第四号発刊によせて



同窓会長 小島 敏文

同窓会会報第四号の発刊に当たり、一言ご挨拶申し上げます。平素より、広島県立世羅高等学校並びに同窓会に対して格別のご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、八月十八日(日)に開催致しました平成十四年度同窓会総会には、世羅高近畿同窓会、東京校友会、呉支部からの参加を含め、六十名を超える会員の参加を頂き、盛大に行うことが出来ました。このことは、母校が充実し、私達が胸を張れる学校になりつつあることの現れであると思っています。母校が活力ある信頼される学校になれば、同窓会も自然と活力あ

る物となつていきますし、同窓会が活発になれば母校も活力ある充実した学校になるものと思えます。そのため、同窓会としましては、母校の教育活動を積極的に支援することとしています。

具体的には今年の五月に台湾同学会の協力を得て、同窓会会長・副会長、学校から校長、生徒会長・副会長の五名が屏東縣立大同高級中学を訪問し、姉妹校提携をしました。来年二月には、同校の代表が本校を訪問する予定になっています。また同じく十月には本校が台湾への修学旅行を行い、同学会の方々やその子弟と交流を行うことになっています。

さらに、世羅高校は台湾だけでなく、ケニア、ブラジル、セネガルなど、幅広く交流を進めており、同窓生も含め、地域が一体となつて国際交流推進協議会を作り、推進していきたいと考えています。

次に、生徒急減期への対応として、県内各地から優秀な生徒を募集するため、寮の増改築工事の要望を県教委に行っていました。昨年十二月十七日に完成し、本年八月三十日には、本校と地域との交流拠点となる「世羅学び館」が完成しました。十一月一日には「世羅高校を育てる会」の主催により、冀北寮増改築・本校PTA

全国表彰を併せた記念式典および祝賀会が盛大に行われました。

今後は、二〇〇六年の本校創立百十周年を目前に、二階建て体育館の新築や農場の整備等について、同窓会として、「育てる会」やPTAと連携をしながら、県当局へ働きかけていきたいと考えています。

平成十七年度には世羅台地は生徒急減期を迎え、郡内三中学校の卒業生が二百八十人を割ります。県も来年度から学区を従来の十四学区から六学区に拡大し、入学試験を実施することになっています。世羅高校の規模縮小は、地域の活力の衰退に直結します。このため、本校は、専門学科だけでなく普通科も含めて、学区を全県一円とし、県内から幅広く生徒を募集し、二百四十人の定員を確保することが望まれます。

そのためには、生徒を受け入れるための宿泊施設の確保が必要であり、是非、同窓生の皆様をはじめ、地域の方々のご協力をお願いしたいと思います。

最後になりましたが、同窓会会員皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げますとともに、来年の同窓会には百名を超える皆様のご出席を期待し、ご挨拶と致します。

21世紀を切り拓く

NEW世羅高等学校



校長 田邊 康嗣

一、世羅高校の果たすべき使命

世羅台地をはじめとする中山間地域には、学年の学級数が一〜三学級の小規模高校が散在していません。専門学科は、庄原実業高校、油木、吉田高校の農業関連学科と福祉・家庭関連学科を残すのみです。このことから、地域社会において世羅高校が求められている果たすべき使命は、中山間地域が直面している新しい枠組み、即ち、21世紀のグローバル化社会における新しい地域作りへの貢献です。具体的には、

(1)21世紀の中山間地域及び日本の将来を切り拓く人材育成のための教育の拠点づくり。
(2)世羅台地と広島県および日本全国、世界とのネットワークの拠点づくり。であると考えています。そのため、本年度から専門学科のみならず、普通科も中山間地域の中核としての役割を担えるように、全県一円の学区に改革しました。(1)について。

・学校完全週五日制への対応と基礎基本の確実な定着。

①授業時間確保のために、昨年度から2学期制、45分の7時間授業を実施し、週当たり35単位時間を確保しています。

②基礎基本の確実な定着を図るため、本年度より1年生から3年生の英語・数学・国語の授業を、それぞれのクラスを2班に分けた完全習熟度別・少人数指導を行っています。さらに各教科のシラバス(授業計画)の作成や定期試験の公表を通して、授業や評価の研究に努めています。

・21世紀カリキュラムの開発

①総合的な学習の時間の一環として、「世羅学」・「世界学」を開設し、地域のスペシャリストや外国の先生・生徒と触れ合ったり、大学との連携を図ることにより、21世紀の地域や世界の課題の理解を深めるとともに、課題解決に取り組む力と意欲を養っています。

②また、普通科において「知力開発科」という学校設定科目を設け、国・社・数・理の発展的な学習に加えて第2外国語も見えるように考えています。夏休みを利用して大学の研究室で研究活動を体験したり、大学や企業の第一線で活躍している研究者や、国際社会で活躍している人から直接指導を受けるなど、21世紀を切り拓く知力を開発するための研究を進めています。

③科学技術の急速な発展に対応するために総合選択制を設け、学科の枠を超えて学習したり、学科と学科の中間領域の学習が出来るようにしています。

・21世紀を切り拓くリーダーシップの育成
①朝夕に校歌を流し、時間厳守・あいさつ・服装の指導の徹底や校内美化を推進し、自由と責任を基本とした、誇りを持った世羅高生の育成に努めています。

②また、陸上部や野球部をはじめとする運動部、ブラスバンド部などの文化部の活動を充実し、向上心と忍耐力を養っています。
③さらに、生徒会活動やボランティア活動を通して、リーダーシップやコミュニケーション能力など対人関係能力の育成に努めています。

・21世紀の新しいタイプの学科構成
①目覚ましい科学技術・情報通信技術の発展、経済のグローバル化がもたらす「知の大競争」に耐え、21世紀の世界の発展に貢献できる人材を育てる教育内容が大切です。そのため、世羅高校では普通科に加えて、農業関連学科と工業関連学科、家政科・福祉科関連学科を基本にした、時代のニーズに応える新しいタイプの学科構成に総合選択制を実現し、中山間地域の地場産業の発展や人材育成に貢献出来るような学科改編をして

います。
(2)について。
・地域とのネットワークづくり
①世羅台地の豊かな自然環境や農園、大学・研究機関等と世羅高校との情報ネットワークや、スペシャリストバンクによる人材活用などを通して、地域の教育力を本校の教育に活用していきたいと思っています。また、聴講制度や開放講座などを通して福祉やバイオテクノロジー、情報技術・スポーツ・文化など、教職員の専門的な力を地域の人や生涯学習に活用していきたいと考えています。

②世羅高校同窓会、「育てる会」、国際交流推進会議、世羅高校評議員会、陸上部後援会、野球部後援会などの交流機関を通して、地域の人や保護者の様々な意見や要望を受け止めるとともに、それを反映した教育活動を推進していくことが大切であると考えています。
③平成14年度事業の一環として、ITモデル地域に指定され、図書館蔵書のデータベース化と県立図書館とのネットワーク化を行い、世羅高校が地域の文化の中心としての役割とともに、世羅台地と日本や世界との情報ネットワークの拠点として機能することが求められています。
・国際教育支援の推進
①台湾の大同高級中学との姉妹校提携、ケニア共和国からの2人

大田庄の自然と四季をお菓子につづり
和菓子処

門手大

甲山町甲山95 ☎22-5143
橋田製あん ☎22-0343(代)・FAX☎22-0634
株式会社 橋田満樹 ☎22-3933・FAX☎22-3935

こだわりの手造り
豆腐・油揚げ・青豆腐
広島県世羅郡甲山町大字甲山205番地

上川商店

TEL (0847) 22-0676
FAX (0847) 22-3920

の生徒の受け入れなどを行ってき
ましたが、今後はさらに様々な外
国の学校との姉妹校提携を促進し
スポーツ・文化の交流推進のため
のネットワークづくりを進めてい
きたいと考えています。

②また、修学旅行による、姉妹
校との交流やインターネットによ
る交流とともに、第2外国語の開
設や外国人講師による授業など、
国際教育支援に向けてのカリキュ
ラムづくりも推進したいと考えて
います。

学校の現状

進路指導部

本校の進路指導は、生徒の進路
希望が、国公立立大学から公務
員・一般就職まで非常に幅広いも
のとなっているため、進学、就職
いずれにも対応出来る学力を身に
つけることを目標としています。

進学では、3年次を中心に早
朝・放課後を使った補習授業を実
施しています。また、前年度から
本校の記念館で受講が可能となっ
たサテライト講座(衛星放送によ
る河合塾の講座)では、1年次・
2年次に受験基礎講座、3年次に
受験対策講座が実施されています。

放映は、各学年毎に開校日の早
朝と土曜日の午前中に行っていま
す。生徒には、これらに積極的に
参加して教科学力を向上させてい

くよう指導しています。

最近の進学に関する傾向として
は、大学・専門学校ともに学校の
供給過多と少子化の影響で、倍率
や難易度が低下していることが挙
げられます。「入れる学校」では
なく、「入りたい学校」を探すとい
う状況になってきました。

各学校・学部での学問内容、取
得可能な資格、就職状況等を良く
吟味して志望校を決定する必要が
あります。もちろん、その過程に
おいては私達教員の指導の味も
重要となります。各生徒の適性・
意欲・能力を的確に見極めた上で、
どの分野、どの学校が生徒にとつ
て最良であり、将来につながる進
路実現に向け、生徒の力を最大限
に伸ばせるのかを判断して行かね
ばなりません。

また、AO入試や推薦入試など、
生徒の関心や意欲を重視する多様
な形態の入試が増えている中、従
来の受験学力の養成のみに重点を
置いた指導だけでは不十分です。
基礎学力の充実に加え、自らの進
路に対する目的意識を早い段階か
ら持たせることが大切です。LHR
や「総合的な学習の時間」を有
効に活用して、今後も更に多方面
からの働きかけを行っていきたく
と考えています。

一方、就職については、不景気
の影響を受け、昨年同様、求人
数・合格率とも厳しい状況が続い
ています。本年度の就職希望者は

20名弱と例年に比べれば少数です
が、高卒生対象の求人票には、生
徒の希望する職種や業種が少な
か見られないのが現状です。

就職に向けた指導としては、2
年次より公務員・就職模試を実施
するとともに、3年次には模擬試
験の解説等の補習授業や面接指導
を行っています。外部から講師を
招いて実施した「マナー講習会」
では、面接試験対策や社会人によ
さわしい態度・心構えについて指
導してもらいました。学校として
も今後、一層、企業開拓、企業と
の連携を密に行い、すべての生徒
が希望の仕事に就けるよう努力し
ていきたいと思えます。

進路指導は良く「実績、結果で
ある」と言われます。進路探求の
努力とともに、学校として誇れる
実績を残し、先輩の実績が後輩の
目標・意欲を高めるよう、また、
今後とも世羅台地の明日を担う人
材の育成を最大の目標として力を
注いでいこうと考えています。

生徒指導部

今年度の重点指導目標は、①授
業規律の確立②服装・頭髪指導③
遅刻指導の三点で、個々の指導は
次の通りです。

①学校生活の基本は授業であり、
授業を大切にす観点から、教科
担当者の指導に従わない場合は、
生徒指導部でその生徒を指導して
います。携帯電話については、授

業中は電源を切り使用禁止として
います。

②頭髪指導については、違反し
ている生徒は一旦帰宅させ、直し
て再び登校させる指導を担任・生
徒指導部で行っています。服装指
導では、女子生徒のルーズソック
スを6月より禁止し、以来全生徒
が守っています。また、シャツの
着方についても、裾を外に出さな
いよう指導し、裾の長いセータ
ー・ベストの着用を禁止していま
す。日頃から制服を正しく着用さ
せ、緊張感を持った生活をさせて
います。

③遅刻指導は従来より行ってい
ましたが、今年6月より朝8時40
分までに教室に入っていない場合
は遅刻とし、5回遅刻すると保護
者にも来校してもらい、本人を指
導しています。また、朝8時25分
に校歌を流すことで早めの登校を
促しています。

以上の取り組みを重点的に進め、
生徒は年々落ち着きを見せており、
今後、生徒に将来の具体的な目標
を持って、そのために日々何を為
すべきかを考えさせながら、粘り
強く指導していきたいと思ってい
ます。

学科の現状

普通科

普通科生徒の進路希望は、国公立

木製家具・スチール家具・別注家具
カーテン・内装工事

(有)世羅家具センター

岡本 森夫(昭21中卒) 世羅町寺町
孝生(昭42高卒) TEL.(0847)22-1364
博文(昭47高卒) FAX.(0847)22-2633

趣味のきものとファッションの店

有限会社 奥呉服店

甲山町本通り TEL(0847)22-0006

私立大学を初めとする進学から、公務員を初めとする就職まで多岐にわたっています。そのため学力をつけることが何より大切であり、2年次より数学の授業を重視した理系と国語を重視した文系に授業が分かれます。

また、3年次には、自分の進路や興味に応じて、より幅広く授業選択が出来るカリキュラムになっています。今年度より総合選択制が導入され、さらに幅広い選択が出来るとなりました。

また、1年次より、英・数・国を中心とした補習授業、河合塾の衛星放送講座(サテライト)を使つての早期補習を行っており、多くの生徒が参加しています。

今春の普通科(3クラス)卒業生の中には、国公立大学に9名、公務員に3名の合格者がいます。これは都市部の高校と比較してもかなりの健闘と思われれます。

また、今年の文化祭でも普通科3年生の伝統である演劇の上演が行われ、しかも2クラスが創作劇という例年以上の頑張りようでした。授業・補習と多忙の中、生徒が一丸となって遅くまで居残り、練習と準備に頑張り抜いたことと上演後の充実感は今後の人生の中での大きな糧となることでしょう。今後とも、全ての生徒に満足していく進路の保障に向けて努力していきたいと思ひます。

生産情報科

◎校外実習について

生産情報科では、一年生と二年生が毎年、世羅台地を中心とした企業と農園での校外実習を行っています。昨年までは、一年生は五月に農園で、また二年生は十一月に企業において実施していましたが、今年は一、二年生共に、夏期休業中の八月六日から九日までの四日間で実施しました。この校外実習を通して、生徒は地域の方々とふれあう中でいろいろな体験ができ大変有意義な実習だったと思います。単に知識や技術的なことを学習できただけでなく、仕事をしていく上での責任感の大切さや、コミュニケーション能力、また仕事をやり終えたあとの達成感、充実感など多くの貴重な経験をさせて頂きました。生徒の感想文からも、農家や地域の方々との話を身をもって学んでくれたように思ひます。この実習で学んだことを今後の学校生活や、自分の進路決定に生かして、充実した高校生活を送ってくれるのではないかと期待しています。

環境科学科

ご協力をいただいた農家、企業の方々に厚くお礼申し上げます。本年度、特記すべき活動が2つあります。その1つは、8月27日、



全国大会(京都)

沼南高校で開催された平板測量競技の県大会で最優秀賞を獲得し、10月30日、京都で開催された第51回日本農業クラブ連盟平板測量競技会(全国大会)に3年生の増見元士君、三島千明君、佐藤宏之君の3名が出場を果たしたことです。

2つ目は、8月12、19日の日程

で「中国沙漠緑化活動」に世羅高校として初めて3年生の桑本悟志君が参加してことです。その活動報告は9月14日の中国新聞のヤングスポーツに掲載されました。その記事を紹介します。

「私は夏休みに8日間、中国沙漠緑化活動に参加してきました。内モンゴル自治区の大青山周辺は山々に木が生えておらず、地肌がむき出しになっており、水の流れ

による浸食のあとがハッキリと見えました。地元フフホト市の高校生と協力し、植林活動を行いました。スコップやつるはしで穴を掘るのですが、山肌は石が多く容易ではありません。

昨年植えた苗木も枯れているものが多く、抜いては新しい苗木を植えました。地元高校生はみんな熱心で、砂漠化への関心の高さが分かりました。

植林活動を終えたあと、フフホト市育苗センターを見学しました。五百ヘクタールの大規模な農園でかんがいや砂防林が整備され、年間約1億本の苗を出荷しています。しかし、バスの中からは、無計画なかんがいで塩害が起きている地域も見ました。私は今回、あらためて環境教育の重要性を知りました。大学では環境教育学を学び、環境問題の解決に教育の面で関わっていききたいと思います。」

生活福祉科

新しい時代の変化や、地域社会の要望などを踏まえて家政科から生活福祉科に学科改編され10年になり、30余名が巣立っています。

生活福祉科の目標は、生活に関する知識や技術をもとに高齢者介護や職業人としての専門的な学習を行うこととし、1年生ではホームヘルパー3級課程を修得し2年生から生活経営類型と福祉類型に分かれています。

生活経営類型では、生活に関連する職業に対応する知識と技術を学習し、販売士検定・秘書検定・レタリング検定・ワープロ技術検定・コンピュータ利用技術検定・着付け検定など資格取得にも

西大田グループ

- 産業廃棄物処理業
- 土木工事業
- 家屋解体業
- 再生砕石、真砂土、肥土、表土販売

誠美総業株式会社

安定型(埋立)・中間処理(焼却)・管理型(埋立)設置してあります。

世羅町中原613-4 電話 (0847) 22-3955(代)
FAX (0847) 22-2870

激安低料金の店

理・美容院
カットハウスきまぐれ

定休日(日曜・第4月曜日) 9:00~6:00

世羅町寺町1733-1 電話 (0847) 22-3081
せらSBタウン内

チャレンジしています。

福祉類型では、ホームヘルパー2級課程を修得し、介護を必要とする高齢者とのコミュニケーションの取り方や介護技術を学習し、施設実習を行っています。また、地域行事に積極的に参加し、人と人とのつながりを大切に行っています。



ふれあいデイ・サービス(部分浴)

国際交流では、インターネットを通してセネガルとの交流を通して高校生にできるボランティア活動のあり方を学習しています。これらを通して地域の高齢者福祉について考え、健康・福祉に関する分野で職業人として活躍できる能力を育てていきたいと思っています。

生徒会

「世界から世羅へ、世羅から世界へ」をめざして、学校の取り組みが進められています。現在、ケニアからの留学生が、陸上部員と共に寮生活をしながら、勉学とクラブ活動に頑張っています。

そうした中で、今年二月には、ケニア共和国からの訪問団を招く行事を持ちました。ケニア大使館のメアリー駐日大使をはじめ、ケニア教育省のベンジャミン・ソゴモさんほか関係者が本校を視察され、本校の生徒が、ケニアと日本の料理をもてなして交流を深めました。続いて、せら文化センターでの国際交流推進会議会長や世羅・甲山各町長を交えて、本校一年生が参加しての歓迎行事を生徒会の生徒の司会で行いました。このような大きな行事の進行を生徒がやってくることにより、「自分たちにできるのか」といった不安もありましたが、留学生のサムエル君やウィンさんの歌や遊び、日本の歌の披露で会場も和み、ケニア訪問団に対する質問交流を生徒代表十二名が英語で行いました。そして、今年度に入って、四月には、「二十一世紀の新しいパートナーシップの構築をめざして」日韓交流の集いを開催しました。サッカーワールドカップ日韓共同開催や釜山アジア大会開催が行われた今年度は、新たな日本と朝鮮の関係、つくりの気運も高まってきています。その意味では、世羅から世界を見ていく視点として、生徒自身も考え、国際社会に生きる一員として新たな関係を構築していきたいければなりません。

韓国の交流活動をされているクラシックギター奏者の長野文恵さんの協力で、フルート奏者の李さん、ソプラノ歌手の車さん、日本からは、昨年度本校で勤務されていた久保幸代さんがソプラノで参加していただきました。この集いには生徒会全員が参加し、生徒会本部が運営司会を行いました。生徒会自身、今回も緊張しましたが、「自分たちでできる」という勢いがありました。両国の歌や演奏を通じて、音楽には国境はないことを感じ、演奏者と会場の生徒たちが一緒に「アリアン」を歌い、交流を深めることができました。

平成十二年に、台湾からこの世羅の地で勉学された卒業生の方々が母校を訪問される行事がありました。そして、田邊校長をはじめ、生徒会から田丸訓子さん、壹丁美穂さんほか訪問団五名が、今年五月下旬に、姉妹縁組を結んだ台湾の大同高級中学校を訪ね、交流しました。両校の縁組みの仲介を果たしていただいたのは、世羅高の前身、旧制世羅中で学ばれた台湾の卒業生の皆さんでした。大同高級中学校は台湾南部屏東県にある生徒数が約千五百人の歴史ある県立学校です。郷校長先生や学校の生徒の皆さんの合奏・握手の熱烈な歓迎を受けました。また、卒業生の陳茂榮さん、丘竹友さん、そして台湾同学会の方々の話から、世羅高との交流を熱望されていることを感じました。

交流を深めた生徒会の代表二人は、「今回出会った生徒たちの何人かが、世羅高に来てくれることを楽しみに待ちたい。そして何年たっても友達でいたいと思う。」と感想を述べ、この台湾との交流を、文字の上だけの国際交流にしてはいけないと強く思い帰途につきました。

このような動きがある一方で、生徒会では生徒の自主活動として様々な委員会活動が推進されています。

昨年度から始めた「空き缶・ペットボトル」収集活動を風紀委員会を中心に行っています。リサイクルを通して点数を貯め、それを現金化して、ケニアの教育に役立ててもらおうと取り組んでいます。リサイクル運動やボランティア活動に少しでもかわりを持ち、自分たちの生活の中で、できることを見つけて行って欲しいと思います。こうした中で夏休み明けから保健委員会も加わり、教室でのゴミの分別が本格的に始動しました。雑然としていたゴミ箱や収集場所がきれいになり、校内の環境美化も進みつつあります。

また、十一月には、「クリーン大作戦」を実施します。学年別に校内の花の整備、「葉ボタン」の学校近隣への配布、通学路周辺のゴミ拾いを行い、地域の支援を受けて学校生活が成り立っていることに気づき、感謝の気持ちとともに

より美しく明日へ

株式会社 TAMAYA GREEN co.,ltd.

タマヤグリーン

代表取締役 **玉谷 邦宏** (H2年卒)

広島県世羅郡世羅町本郷661-1

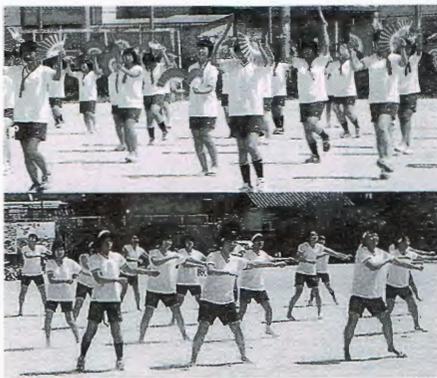
TEL(0847) 22-3001(代) FAX(0847) 22-2228

E-mail : tamaya@ninus.ocn.ne.jp

株式会社 田中商店

代表取締役 **田中 信博**

TEL (0847) 22-0026



に地域社会に貢献できる人間になつて欲しいと思います。

文化祭も生徒が企画を審査して創りあげて行きます。今年も三年生普通科三クラスの演劇を全校で鑑賞しました。「ふるはうす」「手紙」「MESSAGE」の三つの演劇が、生徒たちの手作りのもので、笑いや涙で感動を与えてくれました。平日の校内行事のため、保護者や地域の方々にご覧いただけなかった点を申し訳なく思います。また、クラブやクラスの文化的内容の濃いものをめざして展示にも力を入れて行かなければならない課題があります。

球技大会や体育祭は体育委員会が運営して行きます。クラス対抗や学年対抗で、生徒たちの団結やまとまりのある行動が成功のカギとなります。

特に九月に行った体育祭では、保護者や地域の方約二百名の来場があり、盛り上げていただきました。

た。運営に当たった委員会の生徒も自分の役割分担を責任持って果たし、生徒も各種目に真剣に参加していました。特に、全校男子による「組体操」や学年別女子による「御神楽」「はねこ」「ソーラン節」は集団演技として迫力と感動があり、見る者を楽しませてくれました。

地域の方々から、「生徒さんが見に来てと声をかけてくれたので来ました。楽しかったです。」とか、「いつもは一人暮らし。こんなに笑って過ごせたのは久しぶりだ。」というような声をいただきました。

生徒会における自主的な活動を通じて、生徒自身がいきいきと輝き、自分を高めながら、自信をつけていくことによって、地域への声かけもできるようなと思います。

クラブ活動

クラブ活動に加入する生徒の割合が増え、生徒たちは毎日、放課後になるとグラウンドや体育館などで懸命に練習に励んでいます。

陸上部男子が4年ぶり33度目の全国高校駅伝の出場を決めました。この他にも、写真部の仁田裕子さん(3年)が8月に全国高校総合文化祭(神奈川県)に作品を発表。剣道部女子は、6月に中国高校剣道選手権大会(三次市)に出場しました。出場メンバーのほ

とんどが高校に入学して初めて竹刀を握った生徒たちで、彼女たちの活躍は「やればできる」という意識を他クラブにも浸透させたユースとなりました。また、野球部も年々、部員数の増加により、選手層に厚みを増し、総合力も高くなり、諸大会で好成績を収め、県内の強豪校との対戦によって部員の自信も増しています。

最近の進路状況を見ても、自己の進路希望を達成した生徒は、クラブの引退の時期までやり遂げる傾向が強く、今後もそのような生徒を一人でも多く育てていきたいと私達教職員は決意しています。

第五十三回男子高校駅伝県予選は、大会前、世羅高・如水館高・熊野高・西条農高の混戦が予想されていましたが「絶対負けない」気持ちで大会に臨みました。

大会当日は、気温が低く小雨模様でした。一区如水館の宮地選手が飛び出す予想どおりの展開となりました。世羅高一区栗原は落ち着いたレース展開で四十二秒遅れで二区へ、二区宮廣で二十七秒、三区松井が五秒、差を縮めました。四区石井にタスキが渡った段階で、差は十秒、いよいよ勝負となりました。石井は落ち着いた走り如水館高・田中選手を抜き、トップに立ちました。五区の外崎が好調な走りをして、差を三十七秒まで広げました。あとは一人舞台となり



写真「中国新聞提供」

六区佐藤、七区廣谷とも白いテープに向かって好走し、あの難コースで優勝。振り返れば、全員が持てる力を十分発揮し、総合力の世羅の名を物にしたレースでした。

また、女子陸上部も十二年ぶりの三位入賞を果たすことが出来ました。ここ数年は、出場するのがやっとで、四年前、三名の部員で、他の運動部の選手のを借りて出場した頃から考えると、今は、部員は十五名になり活気があふれています。部員は中学校時代は、ほとんど無名であり、県大会にやっ

と出場できるぐらいの力しかなかったのが、毎日の努力とチームワークで一步一步成長し、自己記録も更新することが出来ました。また、ウインの入部により意識も変わり、切磋琢磨し一人ひとりの目標も大きくなり中国高校駅伝に出場することが出来ました。

今後の目標は、一つでも順位を上げ、県大会優勝・全国大会出場をめざし、毎日努力してまいります。これからも応援・ご支援をよろしく願っています。

仕出し料理・お弁当

つるや

広島県世羅郡甲山町甲山
TEL (0847) 22-0122

進物の玉浦

☎0847-22-1107

FAX.0847-22-1567



〒722-1121
世羅郡甲山町西上原612-2
営業時間/AM8:00~PM7:00
年中無休



留学生紹介



サムエル君 ケニア共和国から2名の留学生が本校で学んでいます。



サムエル・ガガ・ワイテイトウ君とウィンフリーダ・モチャチエ・ケバソさん

んです。4月、生産情報科に入學し、教科では園芸に興味を持ちコンピュータの学習にも意欲を燃やしています。

また、両名とも陸上競技部員として、部員達に溶け込んで、日々長距離練習に汗を流しています。今では、日本語もコミュニケーションできるまでに上達し、寮や学校の生活にもすっかり慣れ、充実した高校生活を楽しんでいる様子が見えます。

「世羅学び館」の発足

多目的教室「世羅学び館」(総工費四、六二〇万円。総床面積二二八㎡)が八月二十日に完成し、落成記念式典が冀北寮の増改築と併せ、「育てる会」の主催により、十一月一日、本校体育館に於いて全校生徒六百名・PTA・同窓会・来賓(県教委教育部長、県高P連会長ほか)百名の出席の下に

行われ、夕刻からは甲山町農村環境改善センターで祝賀会(四十名)も行われました。式典に先立ち、同館において生活福祉科による記念実習授業「ほのぼのデイサービス」(高校生にできる地域福祉活動)お年寄りの出迎え・健康観察・レクリエーション・手作り昼食サービス・部分浴・茶話会(反省会)が行われ、今後の多角的な同館の活用的一端がうかがえました。

同窓生より

源流は潜やかに

勝見 有造(昭16中卒)



昭和十六年三月に卒業したのは総勢三十九名だが、台湾・朝鮮出身者七名を除くと、わずか三十二名に過ぎない。内、生存しているのは十七名で、その中から九名が八月十四日、今高野アクアハウスの同窓会に顔を揃えたのだから、この種の会合としては大盛会だったと言つて差し支えあるまい。

出席者の平均年齢は当然のことながら、数え八十を超え、住所別に見ると阪神二名、広島市三名、因島市、東城町、大和町、甲山町各一名と、かなり広範囲に亘る。それが酷暑の中、交通不便な甲山

町の一角に会して「おだ」をあげ、再会を約して打ち上げとなったのだから、長寿大団日本の面目躍如と言つたところであらうか。

我々の同窓会は昭和二十八年を皮切りに、不定期だが今回で十二回を数える。これは世羅中時代からクラスのリリーダ格だった地元の高橋君の平素からの心配りがあったことで、当日も「学校の諸記録」と題した手製の三十六頁にも及ぶ小冊子を全員に手渡され、期せずして「よくまあ」と感嘆の声が上がったものである。

我々は今年で卒業後丁度六十年を経過したことになるが、この六十年は誠に波瀾万丈と言つた激変の時代であった。先ず卒業した年の暮れに太平洋戦争が始まり、同窓会の半数以上が出征、従軍を余儀なくされ、更に復員後は極端な食糧不足の混乱期を、それこそ必死の思いで生き抜いて来たものである。その後、社会秩序、経済情勢も次第に落ち着きを取り戻し、間もなく高度成長期に入り、多少の波乱はあったものの、遂に経済大国と言われる黄金時代を迎えることとなり、物質的には極めて恵まれた老境を楽しませて貰っている。過去に辛い経験をしているだけに、余計に現在の豊かさが身に沁み、生きていて良かったと実感するとともに、若くして病に倒れたり、戦場に行つて散つた同窓生に改めて冥福を祈る次第である。

しかし、盈つれば欠くの諺どおり、バブルが弾けた十年ぐらいい前から様相が一変して経済は停滞し、リストラ、倒産が続出し、昨今では未曾有の雇用情勢の悪化を招いている。これに対して各方面から景気対策の強化、財政の再建、構造改革の推進等が叫ばれて久しいが、一向に実効を上げるに至っていない。むしろ基本的には、少子化と高齢化の加速によるデフレの様相を次第に色濃くし、問題を益々深刻化させていると思えてならない。

他方、地球規模では人口増加に伴う食糧・資源不足の問題、濫開発と大気汚染による環境破壊の拡大、更に最近ではテロ対策を巡って国際間の緊張が高まる等、誠に物騒な難問が山積みし、どれ一つ取り上げても解決の曙光さえ見えてこない状態となっている。

これからの日本は、これからの人類はと、孫子の世代に思いを致すと、いささか暗澹たる気持ちに襲われる昨今である。

卒業してから...

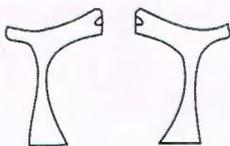
後 由美子(昭39高卒)



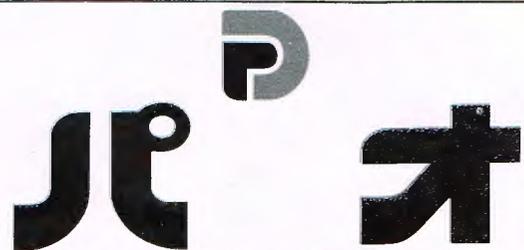
私は昭和39年の卒業生です。もう40年もの年月が経過したことに自分ながら驚いています。その間就職・父の死・結婚・出産・子供

医療法人 社団

藤原 眼科



〒722-1112 広島県世羅郡世羅町大字本郷1028番地
TEL 0847-22-0077(代) FAX 0847-22-2720
●ホームページ <http://www.cisnet.or.jp/~fujiwara/>



甲山ショッピングモール

甲山町西上原
TEL (0847) 22-3820

の教育・子供の結婚・孫の誕生と人生を歩んできました。
現在は10才を迎えた祖母・母・夫・息子夫婦・孫3人と共ににぎやかに暮らしています。

今年の同窓会には、小学校から一緒の同級生松井恵子さんとともに、初めて出席させて頂きました。多くの方は名前も分かりませんでしたが、それでも「世羅高校」出身・同郷の人と思うと、親しみが湧き、ほっとできる雰囲気を感じられたのは、私だけだったのでしようか。出席者の中で私達は若いほうでした。

職場では高齢者組になっており久々に若さを感じました。
私は、卒業後、短大に進み、「生活改良普及員」という資格を取得しました。

これは農村の暮らしの改善を推進する仕事です。父は男女平等の職場として、女性の能力が発揮できる職場だからと言って薦めましたが、私は学生時代から人前で話をするのが苦手で、消極的な性格だったため、自信がありませんでした。(今でも同級生から変身ぶりに驚かれています)。しかし卒業後父が突然亡くなり、普及員になることを父の遺言と思ひ決意しました。

普及事業は、めまぐるしく変化する農村社会で生まれる課題を、先取りする形で進める必要があります。また一般行政とは違い、教

育手法で行う仕事でもあります。難しい仕事の上、評価が得られにくく、不要論がいつも背中合わせです。それでもやめたいと思うことなく30数年が経過したのは、やりがいのある面白い仕事だからだと思っっています。

この間20数年間は地元世羅郡を担当させて頂きました。思い出に残る仕事は「100万円自給運動」

「ふるさと一品運動」等です。そして現在「6次産業」の推進の一員としてお手伝いしています。6次産業とは1次産業・2次産業・3次産業を掛けると6次産業になることからこう呼ばれ、農業は消費者に届けるところまでを視野に入れて、取り組まないと成り立ちにくい時代に来ているということです。

世羅郡では平成9年度から推進され、現在では3町役場が一緒になって「世羅高原6次産業推進協議会」が設立。その後、生産者によるネットワークも設立され、花観光農園・フルーツ観光農園・産直市場・加工グループなど41団体加入され、世羅高校もメンバーです。主な活動は「ひろしま夢プラザ」に年2回2週間ずつ出展し、世羅高原をPRすることです。また昨年度からは「フルーツ王国せら高原まつり」を地元で開いています。今年も9月22日・23日に開き3万人のお客さんで賑わいました。世羅高校はこれらのイベン

トで野菜や花・果物の直売や、エコたわしづくりで消費者交流をされたこともあります。また昨年の「夢祭」では、オーピングにブラスバンドを演奏して盛り上げました。学校のスケジュールがある中での連携は、難しい点も多いでしょうが、地域の中に溶け込んだ活動に、ネットワークの仲間の人達も喜んでおられます。

また、花観光農園では「花園結婚式」が過去三回開かれ集客やイメージづくりに役立っています。こうした回を重ねることでせら高原ファンがだんだん増えていきます。地元に住んでいらつしやる同窓生はもちろん、ふるさとを離れていらつしやる皆さんにも、応援団になつていただけたらどんなにいいでしょう。世羅高校の発展と地域の活性化を願っています。

錦鯉と私

阪井 弘二(昭39高卒)



私は大和町上徳良にて「錦鯉の生産販売業」を営んでおります。

先日の同窓会出席の折、一般の方には意外と知られていない仕事というところもあって、その内容や業界の現状を紹介するよう依頼されました。少々気恥ずかしい気もしますが、私の歩んできた道と合わせて述べさせて頂きます。

そもそも広島県は錦鯉との関わりが深く、多くの方が愛好されています。お城は「鯉城」ですし、野球は「カープ」というくらいです。また全国でも一、二の品質と生産高を誇ります。現在広島産の錦鯉は日本全国をはじめ、世界各国に出荷されています。

昭和39年に農業科を卒業した私は、家業である錦鯉の生産販売業に就きました。当時は「家業は継ぐもの」と思っていたので、進学や他への就職は一切考えませんでした。

錦鯉は他の作物と同様に、土や水への配慮が最も大切といえます。農業科で「土作り」を学んだことは、私の錦鯉人生に大きく役立ち今の基礎を成したと言っても過言ではありません。土作りに十分配慮した池では、錦鯉のツヤ、テリ、伸び、体型など様々な面でよい成果が出るものです。反対に土がやせた池では、品質を期待できないばかりか、病気などにかかりやすくなり、全滅してしまうこともあるのです。

錦鯉には大きく二つの特徴があります。一つは「生きた芸術品」といわれるほどの美しさです。

錦鯉の生産過程で最も気をつけているのが、どの錦鯉を親に使うかということです。

錦鯉のカップルの一回の産卵につき、おおよそ30万匹から60万匹の稚魚がふ化しますが、同じ模様

地域とともに大きなふれあい

株式会社 山平組

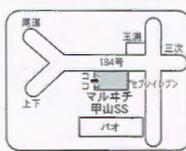
代表取締役 山平 正 登

甲山町別迫711 ☎(0847)24-0111代(本社)
☎(0847)24-0226代(工場)

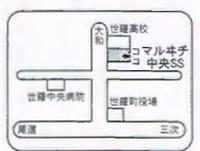
iwatani Life-Up マルチチプロパンガス・管工事業 小型合併槽のことならおまかせください！
昭和シェル石油特約販売店・住宅機器

マルチチ株式会社

世羅郡甲山町西上原597番地



本社・甲山町SS ☎22-1101
世羅中央SS ☎22-0662



をもつものは一組もありません。その中からより芸術性の高いものを、十数回にわたって選別してゆきます。その大前提となるのが親鯉の選別なのです。つまり錦鯉が「生きた芸術品」と呼ばれる所以は、より高い芸術性を錦鯉自身が生まれる前から求められているからだと思えます。

私は美への感性を磨き、錦鯉の芸術性を高めることに、社員とともに精一杯の情熱を傾けてきました。お陰をもちまして、昨年度は権威ある四大全国品評会すべてにおいて、当社作出の錦鯉が全体総合優勝の栄冠に輝きました。錦鯉は水温や水環境への順応性が高く、とても飼育しやすいのもう一つの特徴です。大きな庭池を持たなくても、小さな水槽でも十分に飼うことができます。特に外国では美しい日本の文化として受け入れられ、近年の普及には目を見張るものがあります。現在当社でも生産品の7〜8割は海外へ輸出しております。

業界全体の状況は他業種と同様に深刻な不況と国際化が大きく影響しています。

幸いにも当社は順調に業績を伸ばしており、国際化も却って追い風になっていきます。とはいえ中国、台湾、イスラエルなどの生産国の追い上げも厳しいものがあります。今後ともよりいっそう切磋琢磨して、高品質の錦鯉を生産するつもりです。

地域だより

東京校友会

東京校友会会長 秦典三 (昭和20中卒)

東京校友会会報「とうきょう世羅」は十四年十月発行で十五号となりました。

会報は委員会・委員の努力により今日まで発行し続け、会員相互の会話の広場として、皆さんから関心を集め、歓迎されてまいりました。東京の声はこれからも各地区の方には住所を知らせて頂ければお届け致します。

紙面では理事会・委員会等開催通知、会の審議経過、その他の報告、お知らせ、会員の近況などが掲載されます。

このようなニュースは同期の方とか知人を通じ委員に通知されます。十四年度定期総会が十一月十六日(土)東京都千代田区大手町一丁目二、東京サンケイビル3Fで開催する運びであることの通知としての役目を果たす事にもなります。この度の総会には郷里の特産品も展示され、即売会、予約受付もあって古里の香りを求めることが出来るよう世羅町松山理人町長に、お願いしてサンプルが届く事になりました。東京と古里を繋ぎ継がればより一層きずなが深まるといふ企画から、今回始めました。より一層充実した会の発展を願って幹事の増員も決めました。新たな幹事が追加され総会において就任いたす事となります。

近畿同窓会

会長 松尾千九三 (昭和25高卒) 平成十三年

6月10日 総会開催 梅田大東洋 出席者 48名

7月28日 役員会新名簿作成準備 他

8月19日 母校総会へ3名参加

11月18日 役員会反省会開催 平成十四年

1月15日 役員会新名簿作成準備 広島県人会新年会四名出席

3月9日 広島県高校同窓会関西連絡協議会開催(第一回)、3名出席

3月29日 母校同窓会副会長井上哲一様葬儀に弔電発信

4月7日 役員会 総会の打ち合わせ 他

4月29日 総会案内状発送他打合せ

5月26日 広島県人会総会5名参加

6月9日 幹事会総会開催於大東洋

母校より田邊・村上・仁田先生出席

参加者52名、若い世代

増える

7月7日 総会の反省会及役員会

8月4日 甲子園出場の県代表広陵高校選手の歓迎会出席(新大阪)

8月18日 母校総会に5名参加

8月14〜18日 藤井弘子(昭和28卒、近畿同窓会幹事)が甲山シヨッピングモールで水墨画展を開く

9月26日 細美公香様葬儀弔電発信 以上

名古屋支部

西谷 強 (昭和17中卒)

日頃よりお会いしたり、話をしたりする機会のない学友同士が一堂に会し、旧交を暖め大いに語り合う場が同窓会であります。

名古屋支部は世羅高が全国駅伝大会で最初に優勝した頃に発足したようです。東京と近畿の間には生まれ名古屋地方への就職者も少なく、主として当時の河合塾(名古屋)に勤務していた人達によって母校の応援に尽力していました。

その後も必要な用件がある時に相集まり交友を暖めています。従って年一回の役員会と二〜三年に一回の全員集会を繰返しています。

今年も五月に陸上部募金の件で総会を開きました。二十数名の集まりでいつもと変わらず和やかに過ごしました。募金については積極的な意見も出ず、各個人の意志に

スーパーマーケット



■本部 世羅郡甲山町大字西上原字鎌倉880番地5
TEL (0847) 22-2828(代) FAX (0847) 22-2665

任せることとなりました。会員も高齢となり若い人の集まりが少ないのが残念です。デフレ経済が吾々のところまで及び前途が暗いが、今後社会状態が良くなり、皆がのんびりと集まって楽しく話し合い、母校の発展に役立つような会になりたいと皆が念願しています。

呉支部

副支部長 中村 須賀子 (昭和29高卒)

第6回「世羅の集い」は平成14年4月13日(土)にビューポートくれで開催しました。大原副支部長の努力のお手製の「世羅アルバム」が出席者全員に配られました。内容は、世羅高校を始め大田の庄と題して甲山町世羅町の風景写真(大原様取材)、中国新聞から見た「せら」のスクラップ、花の名所案内、欠席者からの一言等世羅を愛する者ならではの立派なアルバムで何よりの贈物となりました。本年は旧制世羅中S6卒の大先輩からS38卒の人まで8名の少人数ではありましたが、お話し合いは故郷の思い出から教育の今日的課題に至る迄充実した楽しい集いになりました。明年の再会を約し皆様の健康を祈りながら散会しました。なお本年5月2日に開催されました広島県退職公務員連盟呉支部の会に元恩師の後藤和人先生を講師として招聘され、杉山呉支部

長他数名の有志で送迎と講演の拝聴後しばし歓談の時を持ちました。以上呉支部の報告とさせていただきます。

本部だより

総会報告

平成十三年度世羅高等学校同窓会総会は、八月十八日(日)出席者六十名で世羅町本郷「玉乃家」で開催されました。小島敏文会長、田邊康嗣校長の挨拶で開会し続いて秦典三東京校友会会長・松尾千久三近畿同窓会長・杉山呉支部長・松山理人副会長より挨拶をいただきました。

- 総会議事①平成十三年度事業決算報告・監査報告②規約改正(入会金五千円)③役員改選(監事門脇泰弘氏)④平成十四年度事業計画・予算案について承認
- 陸上競技部の現況報告
- 懇親会 橋本英造幹事長の挨拶により開会

今年度は、例年になく若い人、女性の参加が多く盛況でした。これは現規約改正による二学年に跨がった当番幹事の積極的な呼び掛けに負うものが大きかったように思います。また、小林春恵先生(九十二歳)が出席下さり、ご挨拶を頂きました。ご高齢にも拘らずお元気で教え子にとってこの上なく楽しい会となりました。

また地元で活躍されておられる実業家にそれぞれ苦労話や現状を聞かせていただきました。



同窓会役員訃報

○井上哲一氏(昭和20・中卒)

同窓会副会長・陸上後援会副会長として、本校陸上部発展のため物心両面の援助をされ、また建設業を通して母校校舎等の建設に多大の貢献をされ、本年3月25日、75歳で他界されました。

○細美公香氏(昭和9・高女卒)

副会長として旧甲山高女の記念事業(碑の建設等)の推進に中心的役割を果たされ、小学校校長として広島県教育に大きな足跡を残されました。去る9月24日、85歳で他界されました。

○近田谷 實氏(昭和18・中卒) 副会長・陸上後援会理事として母校発展のため尽力され、中学校長退職後も多方面で活躍されました。去る11月30日、79歳で他界されました。

○阿藤波健次郎氏(昭和18中卒)

多年にわたり同窓会監事としてその几帳面なお仕事振りは私達に大きな感銘を与えました。去る10月4日、77歳で急逝されました。御冥福を会員一同お祈り申し上げます。

編集後記

同窓会報第四号をお届けします。先日、母校体育館で冀北寮増改築・世羅学び館の新築記念式典が、多くの来賓出席の下で挙行されましたが、そこでの生徒のマナーは至って良く、教職員諸氏の平素の熱心なご指導の賜物と感謝の気持ちで一杯でした。

また本年度の陸上部男子は全国高校駅伝大会出場を四年ぶりに勝ち取り、女子は県予選で三位を獲得し、校内外に活気が溢れている昨今です。我々同窓生も物心両面での協力を惜しまぬつもりです。

編集委員

- 溝上 尚美(昭22・中卒)
- 石原 正俊(昭28・高卒)
- 伊藤 陽康(昭28・高卒)
- 仁田 賢次(昭44・高卒)

○ A機器・事務用品・学用品 } 卸・小売
 オフィス家具・教材教具・教科書

森田尚文館

森田 努 (S29年卒)

世羅郡甲山町 TEL 22-0136(代)
 FAX 22-3051



エッソ石油代理店

三好石油店

甲山バイパスSS ☎22-1163